

科目名	ベーシックレッスン 2							年度	2024
英語科目名	Basic lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース 1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	満園庄太郎・堀越昭宏・麻生祥一郎	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン		
【科目の目的】									
音楽制作における波形編集技術やマイクでの録音手法を学び、録音したファイルに2つのエフェクトを活用したミックス技術を実践する。ミュージシャンとして基礎力を身につけつつ、音楽全般に関する基礎知識を磨き、適切なトレーニングを行い、オーディションやコンテストに向けた準備と進行方法を学び実践する。									
【科目の概要】									
ミュージシャンとしての基礎力を身につけるため、基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する基礎知識を学んでいきます。また、ソロやバンドなど希望とレベルにあわせたトレーニングを実施。各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。									
【到達目標】									
A. 課題曲 2 曲の歴史的背景について理解する。B. 課題曲 2 曲における演奏法・音色作り・フレー징ができる。C. 課題曲 2 曲を自身のレパートリーとすることができる。									
【授業の注意点】									
この科目は開講曜日により担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている	レベル2 ふつう		レベル1 要努力					
到達目標A	課題曲 2 曲の歴史的背景について理解する	課題曲 1 曲の歴史的背景について理解する		到達目標Aについてさらなる努力が必要					
到達目標B	課題曲 2 曲における演奏法・音色作り・フレー징ができる	課題曲 1 曲における演奏法・音色作り・フレー징ができる		到達目標Bについてさらなる努力が必要					
到達目標C	課題曲 2 曲を自身のレパートリーとすることができる	課題曲 1 曲を自身のレパートリーとすることができる		到達目標Cについてさらなる努力が必要					
【教科書】									
ベース： はじめてのジャズベース									
【参考資料】									
特になし									
【成績の評価方法・評価基準】									
評価基準はルーブリック評価に基づき、1 4 回目または 1 5 回目にて授業内発表を講師と合奏を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ベーシックレッスン2			年度	2024
英語表記		Basic lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	概要&課題曲①	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
2	課題曲①進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
3	課題曲①練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
4	課題曲②導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
5	課題曲②進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
6	課題曲②練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
7	課題曲③導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
8	課題曲③進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
9	課題曲③練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
10	課題曲④導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
11	課題曲④進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
12	課題曲④練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
13	課題曲まとめ	応用方法	1 課題曲の振り返り	各課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントを深く理解する		
			3 仕上りの確認	各楽曲の仕上りを確認できる		
14	前期試験	合奏	1 課題曲の合奏	課題曲の合奏ができる	3	
			2 他者の演奏分析	他者の演奏分析ができる		
			3 演奏の自己分析	演奏の自己分析ができる		
15	前期まとめ	復習の実践	1 フィードバック	フィードバックが理解できる	3	
			2 ポイントの再整理	ポイントの再整理ができる		
			3 今後への展望	今後への展望を理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	ベーシックレッスン 2							年度	2024
英語科目名	Basic lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース 1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	満園庄太郎・堀越昭宏・麻生祥一郎	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン		
【科目の目的】									
音楽制作における波形編集技術やマイクでの録音手法を学び、録音したファイルに2つのエフェクトを活用したミックス技術を実践する。ミュージシャンとして基礎力を身につけつつ、音楽全般に関する基礎知識を磨き、適切なトレーニングを行い、オーディションやコンテストに向けた準備と進行方法を学び実践する。									
【科目の概要】									
ミュージシャンとしての基礎力を身につけるため、基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する基礎知識を学んでいきます。また、ソロやバンドなど希望とレベルにあわせたトレーニングを実施。各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。									
【到達目標】									
A. 課題曲 2 曲の歴史的背景について理解する。B. 課題曲 2 曲における演奏法・音色作り・フレー징ができる。C. 課題曲 2 曲を自身のレパートリーとすることができる。									
【授業の注意点】									
この科目は開講曜日により担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている	レベル2 ふつう			レベル1 要努力				
到達目標A	課題曲 2 曲の歴史的背景について理解する	課題曲 1 曲の歴史的背景について理解する			到達目標Aについてさらなる努力が必要				
到達目標B	課題曲 2 曲における演奏法・音色作り・フレー징ができる	課題曲 1 曲における演奏法・音色作り・フレー징ができる			到達目標Bについてさらなる努力が必要				
到達目標C	課題曲 2 曲を自身のレパートリーとすることができる	課題曲 1 曲を自身のレパートリーとすることができる			到達目標Cについてさらなる努力が必要				
【教科書】									
ドラム：Progressive Steps to Syncopation for the Modern Drummer									
【参考資料】									
特になし									
【成績の評価方法・評価基準】									
評価基準はルーブリック評価に基づき、1 4 回目または 1 5 回目にて授業内発表を講師と合奏を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ベーシックレッスン2			年度	2024
英語表記		Basic lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	概要&課題曲①	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
2	課題曲①進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
3	課題曲①練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
4	課題曲②導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
5	課題曲②進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
6	課題曲②練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
7	課題曲③導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
8	課題曲③進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
9	課題曲③練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
10	課題曲④導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
11	課題曲④進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
12	課題曲④練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
13	課題曲まとめ	応用方法	1 課題曲の振り返り	各課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントを深く理解する		
			3 仕上りの確認	各楽曲の仕上りを確認できる		
14	前期試験	合奏	1 課題曲の合奏	課題曲の合奏ができる	3	
			2 他者の演奏分析	他者の演奏分析ができる		
			3 演奏の自己分析	演奏の自己分析ができる		
15	前期まとめ	復習の実践	1 フィードバック	フィードバックが理解できる	3	
			2 ポイントの再整理	ポイントの再整理ができる		
			3 今後への展望	今後への展望を理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	ベーシックレッスン 2							年度	2024
英語科目名	Basic lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース 1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	満園庄太郎・堀越昭宏・麻生祥一郎	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン		
【科目の目的】									
音楽制作における波形編集技術やマイクでの録音手法を学び、録音したファイルに2つのエフェクトを活用したミックス技術を実践する。ミュージシャンとして基礎力を身につけつつ、音楽全般に関する基礎知識を磨き、適切なトレーニングを行い、オーディションやコンテストに向けた準備と進行方法を学び実践する。									
【科目の概要】									
ミュージシャンとしての基礎力を身につけるため、基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する基礎知識を学んでいきます。また、ソロやバンドなど希望とレベルにあわせたトレーニングを実施。各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。									
【到達目標】									
A. 課題曲 2 曲の歴史的背景について理解する。B. 課題曲 2 曲における演奏法・音色作り・フレー징ができる。C. 課題曲 2 曲を自身のレパートリーとすることができる。									
【授業の注意点】									
この科目は開講曜日により担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ループリック									
ループリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力				
到達目標A	課題曲 2 曲の歴史的背景について理解する		課題曲 1 曲の歴史的背景について理解する		到達目標Aについてさらなる努力が必要				
到達目標B	課題曲 2 曲における演奏法・音色作り・フレー징ができる		課題曲 1 曲における演奏法・音色作り・フレー징ができる		到達目標Bについてさらなる努力が必要				
到達目標C	課題曲 2 曲を自身のレパートリーとすることができる		課題曲 1 曲を自身のレパートリーとすることができる		到達目標Cについてさらなる努力が必要				
【教科書】									
キーボード： キーボードバックイングのアイデア”即戦力”138									
【参考資料】									
特になし									
【成績の評価方法・評価基準】									
評価基準はループリック評価に基づき、1 4 回目または 1 5 回目にて授業内発表を講師と合奏を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ベーシックレッスン2			年度	2024
英語表記		Basic lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	概要&課題曲①	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
2	課題曲①進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
3	課題曲①練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
4	課題曲②導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
5	課題曲②進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
6	課題曲②練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
7	課題曲③導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
8	課題曲③進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
9	課題曲③練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
10	課題曲④導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
11	課題曲④進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
12	課題曲④練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
13	課題曲まとめ	応用方法	1 課題曲の振り返り	各課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントを深く理解する		
			3 仕上りの確認	各楽曲の仕上がりを確認できる		
14	前期試験	合奏	1 課題曲の合奏	課題曲の合奏ができる	3	
			2 他者の演奏分析	他者の演奏分析ができる		
			3 演奏の自己分析	演奏の自己分析ができる		
15	前期まとめ	復習の実践	1 フィードバック	フィードバックが理解できる	3	
			2 ポイントの再整理	ポイントの再整理ができる		
			3 今後への展望	今後への展望を理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	ベーシックレッスン 2							年度	2024
英語科目名	Basic lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース 1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	満園庄太郎・堀越昭宏・麻生祥一郎	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン		
【科目の目的】									
音楽制作における波形編集技術やマイクでの録音手法を学び、録音したファイルに2つのエフェクトを活用したミックス技術を実践する。ミュージシャンとして基礎力を身につけつつ、音楽全般に関する基礎知識を磨き、適切なトレーニングを行い、オーディションやコンテストに向けた準備と進行方法を学び実践する。									
【科目の概要】									
ミュージシャンとしての基礎力を身につけるため、基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する基礎知識を学んでいきます。また、ソロやバンドなど希望とレベルにあわせたトレーニングを実施。各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。									
【到達目標】									
A. 課題曲 2 曲の歴史的背景について理解する。B. 課題曲 2 曲における演奏法・音色作り・フレー징ができる。C. 課題曲 2 曲を自身のレパートリーとすることができる。									
【授業の注意点】									
この科目は開講曜日により担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力				
到達目標A	課題曲 2 曲の歴史的背景について理解する		課題曲 1 曲の歴史的背景について理解する		到達目標Aについてさらなる努力が必要				
到達目標B	課題曲 2 曲における演奏法・音色作り・フレー징ができる		課題曲 1 曲における演奏法・音色作り・フレー징ができる		到達目標Bについてさらなる努力が必要				
到達目標C	課題曲 2 曲を自身のレパートリーとすることができる		課題曲 1 曲を自身のレパートリーとすることができる		到達目標Cについてさらなる努力が必要				
【教科書】									
ギター： エレキギターバックキングのアイデア”即戦力”135									
【参考資料】									
特になし									
【成績の評価方法・評価基準】									
評価基準はルーブリック評価に基づき、1 4 回目または1 5 回目にて授業内発表を講師と合奏を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ベーシックレッスン2			年度	2024
英語表記		Basic lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	概要&課題曲①	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
2	課題曲①進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
3	課題曲①練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
4	課題曲②導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
5	課題曲②進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
6	課題曲②練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
7	課題曲③導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
8	課題曲③進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
9	課題曲③練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
10	課題曲④導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
11	課題曲④進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
12	課題曲④練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
13	課題曲まとめ	応用方法	1 課題曲の振り返り	各課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントを深く理解する		
			3 仕上りの確認	各楽曲の仕上りを確認できる		
14	前期試験	合奏	1 課題曲の合奏	課題曲の合奏ができる	3	
			2 他者の演奏分析	他者の演奏分析ができる		
			3 演奏の自己分析	演奏の自己分析ができる		
15	前期まとめ	復習の実践	1 フィードバック	フィードバックが理解できる	3	
			2 ポイントの再整理	ポイントの再整理ができる		
			3 今後への展望	今後への展望を理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	ベーシックレッスン 2							年度	2024
英語科目名	Basic lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース 1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	大野元毅・柿崎光	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン		
【科目の目的】									
音楽制作における波形編集技術やマイクでの録音手法を学び、録音したファイルに2つのエフェクトを活用したミックス技術を実践する。ミュージシャンとして基礎力を身につけつつ、音楽全般に関する基礎知識を磨き、適切なトレーニングを行い、オーディションやコンテストに向けた準備と進行方法を学び実践する。									
【科目の概要】									
ミュージシャンとしての基礎力を身につけるため、基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する基礎知識を学んでいきます。また、ソロやバンドなど希望とレベルにあわせたトレーニングを実施。各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。									
【到達目標】									
A. 現代の音楽における波形編集技術の知見を得る。B. マイクでの録音手法で、レコーディングができる。C. レコーディングしたファイルにおける2種類のエフェクトを活用したミックス技術の実践ができる。									
【授業の注意点】									
この科目は開講曜日により担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考えから、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている	レベル2 ふつう			レベル1 要努力				
到達目標A	現代の音楽における波形編集技術の知見を得る	波形編集技術の知見を得る			到達目標Aについてさらなる努力が必要				
到達目標B	マイクでの録音手法で、レコーディングができる	マイクケーブルで音声信号をDAWに送ることができる			到達目標Bについてさらなる努力が必要				
到達目標C	レコーディングしたファイルにおける2種類のエフェクトを活用したミックス技術の実践ができる	レコーディングしたファイルにおける1種類のエフェクトを活用したミックス技術の実践ができる			到達目標Cについてさらなる努力が必要				
【教科書】									
適時、講師より教材を配布する。									
【参考資料】									
特になし									
【成績の評価方法・評価基準】									
評価基準はルーブリック評価に基づき、期末提出物60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ベーシックレッスン2			年度	2024
英語表記		Basic lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	インピーダンス	音響理論理解	1 ラインレベル理解 2 ギターベース出力 3 インピーダンス学習	ラインレベルを知る ギターベースの出力理解 インピーダンスを把握する	3	
2	ライン信号	音響理論理解	1 基本ライン録音 2 録音機材選定 3 設定技法習得	ライン録音技法習得 機材設定ができる 録音セッション実施	3	
3	ライン録音応用	音響理論理解	1 応用ライン録音 2 マイク配置理解 3 実際のセッション	応用的ライン録音技法 マイク配置ができる 応用録音を体験する	3	
4	打楽器録音	録音技法	1 打楽器録音法 2 打楽器セッティング 3 実践活用法	打楽器の録音を理解 実際の打楽器録音実施 打楽器の音質改善法	3	
5	ループサンプル	オーディオ編集	1 ループサンプル学習 2 加工技術習得 3 実際の作業実施	ループサンプルを加工 サンプルの選択ができる サンプルの活用法習得	3	
6	サンブラートラック	オーディオ編集	1 サンプラーの役割 2 トラック制作技法 3 実践的な活用法	サンブラートラック概念 サンプラー操作習得 サンプル活用法を知る	3	
7	エフェクト(EQ/コンプ)	オーディオ編集	1 エフェクト理解 (EQ) 2 エフェクト理解 (コンプ) 3 ミックス技法習得	EQの使い方を学ぶ コンプリヘンション実施 サウンドクオリティ向上	3	
8	エフェクト(ディレイ)	空間エフェクト	1 ディレイ学習 2 リバース学習 3 効果的使用法習得	ディレイの使い方習得 リバース適用技法学習 エフェクトを実際に使う	3	
9	モジュレーション	空間エフェクト	1 モジュレーション学習 2 実際の曲への適用 3 実践的機材知識	モジュレーション理解 エフェクト活用実践 サウンドバリエーション	3	
10	業務用機材	実践法	1 業務用機材の理解 2 機材メンテナンスの理解 3 実践的機材知識	プロの機材を使う レコーディング技法習得 楽曲制作への適用	3	
11	コラージュ制作1	DAW活用実践	1 プロの録音技法 2 実際のセッション 3 コラージュ制作1	コラージュ作成初級 コンセプト立案ができる 独自のデザイン発展	3	
12	コラージュ制作2	DAW活用実践	1 アイデア出し技法 2 実際の作品作成 3 コラージュ制作2	コラージュ作成中級 デザイン再構築技法 多様な素材活用法	3	
13	コラージュ制作3	DAW活用実践	1 構成・配置技法 2 詳細な作品製作 3 コラージュ制作3	コラージュ作成上級 作品の完成とブラッシュアップ 展示に向けた仕上げ	3	
14	コラージュ制作4	DAW活用実践	1 構成・配置技法 2 詳細な作品製作 3 コラージュ制作4	データバックアップ プレゼンコメントシートの作成 プレゼン練習	3	
15	まとめ	全体発表会	1 提出物の発表法 2 授業の振り返り 3 後期内容のまとめ	提出物の発表能力 授業内容の反省・振り返り 学習の総括・次への計画	3	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	ベーシックレッスン 2							年度	2024
英語科目名	Basic lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース 1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	野村大輔・松川かの子			教員の実務経験	有	実務経験の職種	ミュージシャン		
【科目の目的】									
2つの音楽ジャンルにおけるリズム形態、テンポ、拍子、コード進行を理解し、2曲の課題曲での読譜力を向上させ、対応力のある演奏スタイルに関する知識を習得する。ミュージシャンとしての基礎力を養うためには、基礎レッスンを受け、音楽全般に関する基礎知識を学び、自身のレベルに合わせたトレーニングを行い、各種オーディションやコンテストに備え、その進行方法を学び実践する。									
【科目の概要】									
ミュージシャンとしての基礎力を身につけるため、基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する基礎知識を学んでいきます。また、ソロやバンドなど希望とレベルにあわせたトレーニングを実施。各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。									
【到達目標】									
A. 2種類の音楽ジャンル、リズム形態、テンポ、拍子、コード進行を把握する。B. 2曲の課題曲の中で即座に対応できる読譜力を身につける。C. 対応力のある演奏スタイルに関する知見を得る。									
【授業の注意点】									
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ループリック									
ループリック評価	レベル3 優れている	レベル2 ふつう				レベル1 要努力			
到達目標A	2種類の音楽ジャンル、リズム形態、テンポ、拍子、コード進行を把握する	2種類の音楽ジャンルを把握する				到達目標Aについてさらなる努力が必要			
到達目標B	2曲の課題曲の中で即座に対応できる読譜力を身につける	1曲の課題曲の中で読譜力を身につける				到達目標Bについてさらなる努力が必要			
到達目標C	対応力のある演奏スタイルに関する深い知見を得る	対応力のある演奏スタイルに関する知見を得る				到達目標Cについてさらなる努力が必要			
【教科書】									
適時、講師より教材を配布する。									
【参考資料】									
特になし									
【成績の評価方法・評価基準】									
評価基準はループリック評価に基づき、14回目または15回目にて授業内発表を講師と合奏を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ベーシックレッスン2			年度	2024
英語表記		Basic lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	セッション1	ワンコード演奏	1 譜面配布	楽譜の基礎が理解できる	3	
			2 楽譜読み方	譜面を正確に読める		
			3 楽譜解析	音楽の言語が理解できる		
2	セッション2	ワンコード演奏	1 音符学習	音符の種類がわかる	3	
			2 休符学習	休符の違いができる		
			3 音の特性学習	音の長さが理解できる		
3	バラード研究1	楽曲解析	1 パート分け	パート別に音が聞き分けられる	3	
			2 耳コピ	音の高さを記憶できる		
			3 音色確認	音楽の構成がわかる		
4	バラード研究2	楽曲解析	1 リズム重視	リズムを正確に取れる	3	
			2 演奏練習	演奏のリズムが整う		
			3 テクニック学習	曲のフレーズが良くなる		
5	海外曲研究1	楽曲解析	1 譜面読譜	各パートで音の安定感が増す	3	
			2 パート分け	パート同士の調和が取れる		
			3 理論の確認	楽曲で使う理論を把握できる		
6	海外曲研究2	楽曲解析	1 パート毎練習	各パートの演奏を仕上げる	3	
			2 音色確認	パートごとの特色が出る		
			3 発表技法	アンサンブル感が増す		
7	クリスマス曲1	楽曲解析	1 チーム編成	チームでの連携が向上する	3	
			2 チーム練習	演奏の練習が効率的になる		
			3 演奏スキル向上	チーム内のコミュニケーションが増す		
8	クリスマス曲2	楽曲解析	1 リズム討議	リズムの統一感が増す	3	
			2 ダイナミクス討議	ダイナミクスのバランスが取れる		
			3 音楽解釈	演奏に表情が増す		
9	アレンジ実践1	編曲技術	1 チーム発表	演奏の技術が向上する	3	
			2 演奏評価	チームの協力が感じられる		
			3 表現方法学習	表現力が豊かになる		
10	アレンジ実践2	編曲技術	1 シンコペ学習	シンコペーションの理解が深まる	3	
			2 タイと休符	休符の使い方が洗練される		
			3 意識的な演奏	曲のニュアンスが出る		
11	オリジナル制作1	編曲技術	1 チーム分け	曲の深い部分が理解できる	3	
			2 曲解析	アナライズを基に歌が改善される		
			3 深掘り練習	練習がより具体的になる		
12	オリジナル制作2	編曲技術	1 パフォーマンス	パフォーマンスの基礎ができる	3	
			2 ステージング	表現の幅が広がる		
			3 表現力向上	ステージングが向上する		
13	ソロ技術1	編曲技術	1 リズム確認	全体のリズムが安定する	3	
			2 ダイナミクス確認	ダイナミクスのコントロールができる		
			3 総合技法	パフォーマンスが一体となる		
14	ソロ技術2	編曲技術	1 授業発表	授業内容が総合的にわかる	3	
			2 発表技法	発表時の緊張が和らぐ		
			3 聞き手としての評価	演奏の完成度が高まる		
15	まとめ	総括・振り返り	1 復習	前期の内容が確認できる	3	
			2 知識確認	スキルの定着を確認できる		
			3 スキル振り返り	成果を振り返れる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	ベーシックレッスン 2							年度	2024
英語科目名	Basic lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース 1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	野村大輔・松川かの子・郁川舞	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン		
【科目の目的】									
2つの音楽ジャンルにおけるリズム形態、テンポ、拍子、コード進行を理解し、2曲の課題曲での即座なインプロヴィゼーション力を身につけ、周りのミュージシャンとのコミュニケーション強化を通じて対応力ある演奏スタイルを実現する。ミュージシャンとしての基礎力を養うため、基礎レッスンと音楽全般の基礎知識を学び、自身のレベルに合わせたトレーニングを実施。各種オーディションやコンテストに向けた準備と進行方法を学び、実践する。									
【科目の概要】									
ミュージシャンとしての基礎力を身につけるため、基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する基礎知識を学んでいきます。また、ソロやバンドなど希望とレベルにあわせたトレーニングを実施。各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。									
【到達目標】									
A. 2種類の音楽ジャンル、リズム形態、テンポ、拍子、コード進行を把握する。B. 2曲の課題曲の中で即座に対応できるインプロヴィゼーション力を身につける。C. 2曲の課題曲に関して、周りのミュージシャンとコミュニケーションをとりながら、相手がどんな事を考えているかなどを察知して、対応力のあるスタイルでの演奏ができる。									
【授業の注意点】									
この科目は開講曜日により担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考えから、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ループリック									
ループリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力				
到達目標A	2種類の音楽ジャンル、リズム形態、テンポ、拍子、コード進行を把握する		2種類の音楽ジャンルを把握する		到達目標Aについてさらなる努力が必要				
到達目標B	2曲の課題曲の中で即座に対応できるインプロヴィゼーション力を身につける		1曲の課題曲の中でインプロヴィゼーション力を身につける		到達目標Bについてさらなる努力が必要				
到達目標C	2曲の課題曲に関して、周りのミュージシャンとコミュニケーションをとりながら、相手がどんな事を考えているかなどを察知して、対応力のあるスタイルでの演奏ができる		1曲の課題曲に関して、周りのミュージシャンとコミュニケーションをとりながら、対応力のあるスタイルでの演奏ができる		到達目標Cについてさらなる努力が必要				
【教科書】									
適時、講師より教材を配布する。									
【参考資料】									
特になし									
【成績の評価方法・評価基準】									
評価基準はループリック評価に基づき、14回目または15回目にて授業内発表を講師と合奏を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ベーシックレッスン2			年度	2024
英語表記		Basic lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	セッション1	ワンコード演奏	1 楽器特徴学習	楽器特徴を理解する	3	
			2 機材の選定	適切な機材を選べる		
			3 機材の操作	機材の操作ができる		
2	セッション2	ワンコード演奏	1 音の確認	各パートの音を知る	3	
			2 バンド編成	正確にパートを歌える		
			3 アンサンブル歌	アンサンブルが強化される		
3	バラード研究1	楽曲演奏	1 構成の学習	前奏を完璧に理解する	3	
			2 前奏の練習	間奏を正確に把握する		
			3 間奏の練習	アウトロの構造を掴む		
4	バラード研究2	楽曲演奏	1 ダイナミクス学習	ダイナミクスを感じられる	3	
			2 感情の表現	表情豊かに演奏する		
			3 強弱の調整	感情を音に変換できる		
5	海外曲研究1	楽曲演奏	1 リズムの練習	スタッカートの理解	3	
			2 スタッカート学習	タイの正確な実行		
			3 タイの練習	リズムをしっかりキープ		
6	海外曲研究2	楽曲演奏	1 パフォーマンス入門	ステージでの立ち振る舞い	3	
			2 ステージ動き	観客との繋がりを持つ		
			3 演出の工夫	演奏中の姿勢が良くなる		
7	クリスマス曲1	楽曲演奏	1 音の再確認	各パートの音を再確認	3	
			2 バランスの取り方	音のバランスがとれる		
			3 アンサンブル練習	アンサンブルの進化		
8	クリスマス曲2	楽曲演奏	1 構成の再学習	構成要素を再度掴む	3	
			2 アウトロの練習	再度のアウトロ学習		
			3 繋ぎ方の工夫	曲全体の流れをつかむ		
9	アレンジ実践1	編曲技術	1 ダイナミクス応用	ダイナミクスを自在に扱う	3	
			2 音量のコントロール	音量を適切に調整する		
			3 演奏の調整	各楽器の調和を深める		
10	アレンジ実践2	編曲技術	1 リズムの応用	16分のリズムを理解	3	
			2 リズムの発展	高度なリズムができる		
			3 16分のリズム	正確なリズムキープ		
11	オリジナル制作1	楽曲演奏	1 本番に向けた練習	実際のリハーサル技法	3	
			2 総合的な確認	リハーサル中の注意点		
			3 リハーサルのポイント	効果的なリハーサル法		
12	オリジナル制作2	楽曲演奏	1 授業発表準備	実際の演奏を体験する	3	
			2 本番に向けて	発表技術を磨く		
			3 発表のコツ	グループでの連携を高める		
13	ソロ技術1	楽曲演奏	1 前期内容の確認	学んだことの振り返り	3	
			2 学んだ点の振り返り	前期の内容を整理する		
			3 成果の確認	自己評価ができる		
14	ソロ技術2	楽曲演奏	1 曲の構造学習	曲の構造学習ができる	3	
			2 エンディング練習	エンディング練習ができる		
			3 楽曲の理解	楽曲が理解できる		
15	まとめ	総括・振り返り	1 復習	復習の仕方がわかる	3	
			2 知識確認	知識確認ができる		
			3 スキル振り返り	スキル振り返りができる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	ベーシックレッスン 2							年度	2024
英語科目名	Basic lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース 1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	郁川舞	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン		
【科目の目的】 ミュージシャンとしての基礎力を築くために、6種類のKeyにおいてコード系楽器の基礎的な奏法を身につけ、楽譜を読む力を伴った音感やハーモニー感覚を向上させる。また、実践的な音楽的知識、特にコードに関する知識を身につける。基礎レッスンや音楽全般の基礎知識の学習を行い、自身のレベルに合わせたトレーニングを実施する。									
【科目の概要】 ミュージシャンとしての基礎力を身につけるため、基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する基礎知識を学んでいきます。また、ソロやバンドなど希望とレベルにあわせたトレーニングを実施。各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。									
【到達目標】 A・6種類のKeyにおいて、コード系楽器の基礎的な奏法を身につける。B・6種類のKeyにおいて、楽譜を読む力をつけたうえで、音感やハーモニー感覚を向上させる。C・6種類のKeyにおいて、コードなど実践に役立つ音楽的知識を身につける。									
【授業の注意点】 専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方を持ち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている	レベル2 ふつう			レベル1 要努力				
到達目標A	6種類のKeyにおいて、コード系楽器の基礎的な奏法を身につける	2種類のKeyにおいて、コード系楽器の基礎的な奏法を身につける			到達目標Aについてさらなる努力が必要				
到達目標B	6種類のKeyにおいて、楽譜を読む力をつけたうえで、音感やハーモニー感覚を向上させる	2種類のKeyにおいて、楽譜を読む力をつけたうえで、音感やハーモニー感覚を向上させる			到達目標Bについてさらなる努力が必要				
到達目標C	6種類のKeyにおいて、コードなど実践に役立つ音楽的知識を身につける	2種類のKeyにおいて、コードなど実践に役立つ音楽的知識を身につける			到達目標Cについてさらなる努力が必要				
【教科書】 配布プリント									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、試験50%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表30%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ベーシックレッスン2			年度	2024
英語表記		Basic lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	C/Am音階基礎	課題1解説	1 課題曲①解説1	課題曲①を理解する	3	
			2 Cメジャースケール	Cメジャースケール習得		
			3 Aメロマイナースケール	Aメロディック練習		
2	C/Am音階強化	演奏法	1 課題曲①解説2	課題曲①の深化解説	3	
			2 Cメジャースケール	Aハーモニック練習		
			3 Aメロマイナースケール	Cメジャースケール応用		
3	F/Dm音階入門	課題1深化	1 課題曲①解説3	課題曲①の詳細解説	3	
			2 Fメジャースケール	Fメジャースケール習得		
			3 Dメロマイナースケール	Dメロディック練習		
4	F/Dm音階強化	演奏法	1 課題曲②解説1	課題曲②の基本解説	3	
			2 Fメジャースケール	Dハーモニック練習		
			3 Dメロマイナースケール	Fメジャースケール応用		
5	B♭/Gm音階基礎	課題2解説	1 課題曲②解説2	課題曲②の詳細解説	3	
			2 B♭メジャースケール	B♭メジャースケール習得		
			3 Gメロマイナースケール	Gメロディック練習		
6	B♭/Gm音階強化	演奏法	1 課題曲②解説3	課題曲②の応用解説	3	
			2 B♭メジャースケール	Gハーモニック練習		
			3 Gメロマイナースケール	B♭メジャー応用練習		
7	中間発表	課題2深化	1 音階練習1, 2	中間発表の準備	3	
			2 課題曲①選択演奏	課題曲選択技能		
			3 課題曲②選択演奏	パフォーマンス技術習得		
8	E♭/Cm音階基礎	中間発表	1 課題曲③解説1	課題曲③の基本解説	3	
			2 E♭メジャースケール	E♭メジャースケール習得		
			3 Cメロマイナースケール	Cメロディック練習		
9	E♭/Cm音階強化	課題3解説	1 課題曲③解説2	課題曲③の詳細解説	3	
			2 E♭メジャースケール	Cハーモニック練習		
			3 Cメロマイナースケール	E♭メジャー応用練習		
10	G/Dm音階実践	演奏法	1 課題曲③解説3	課題曲③の応用解説	3	
			2 Gメジャースケール	Gメジャースケール習得		
			3 Dメロマイナースケール	Dハーモニック練習		
11	G/Dm音階応用	課題3深化	1 課題曲④解説1	課題曲④の基本解説	3	
			2 Gメジャースケール	Dメジャースケール習得		
			3 Dメロマイナースケール	Bメロディック練習		
12	D/Bm音階習熟	演奏法	1 課題曲④解説2	課題曲④の詳細解説	3	
			2 Dメジャースケール	Bハーモニック練習		
			3 Bメロマイナースケール	Dメジャー応用練習		
13	D/Bm音階達成	課題4深化	1 課題曲④解説3	試験対策技術習得	3	
			2 Dメジャースケール	課題曲選択能力		
			3 Bメロマイナースケール	Aメジャースケール習得		
14	試験対策	実践練習	1 試験対策	試験課題演奏技術	3	
			2 課題曲選択	指定曲習得		
			3 Aメジャースケール	後期の学びの整理		
15	総括	実技試験	1 実技試験	実技試験で演奏ができる	3	
			2 後期のまとめ	後期の学びの整理ができる		
			3 講師指定演奏	講師の指定するフォーマットで演奏ができる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	ベーシックレッスン 2							年度	2024
英語科目名	Basic lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース 1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	永田範正	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン、作曲家、プロデューサー、ディレクター		
【科目の目的】 ミュージシャンとしての基礎力を養うために、基礎レッスンと音楽全般の基礎知識を学びながら、2つの課題曲において基礎的な演奏力を身につけ、専攻分野の奏法を活かした演奏者としての知識を獲得する。学内発表の範囲内で演奏法に継続性をもたらし技術を身につけ、さらに各種オーディションやコンテストに向けた準備と進行方法を学び実践する。									
【科目の概要】 ミュージシャンとしての基礎力を身につけるため、基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する基礎知識を学んでいきます。また、ソロやバンドなど希望とレベルにあわせたトレーニングを実施。各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。									
【到達目標】 A. 課題曲 2 曲に関して、基礎的演奏力を体得している。B. 課題曲 2 曲に関して、専攻分野における奏法をふまえた、演奏者としての知識を習得している。C. 学内発表の範囲内で、演奏法に、継続性が見込める。									
【授業の注意点】 専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている	レベル2 ふつう			レベル1 要努力				
到達目標A	課題曲 2 曲に関して、基礎的演奏力を体得している	課題曲 1 曲に関して、基礎的演奏力を体得している			到達目標Aについてさらなる努力が必要				
到達目標B	課題曲 2 曲に関して、専攻分野における奏法をふまえた、演奏者としての知識を習得している	課題曲 1 曲に関して、専攻分野における奏法をふまえた、演奏者としての知識を習得している			到達目標Bについてさらなる努力が必要				
到達目標C	学内発表の範囲内で、演奏法に継続性が見込める	課題の譜面を書くことができる			到達目標Cについてさらなる努力が必要				
【教科書】 講師作成のリードシート、課題曲のリードシート。									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ベーシックレッスン2			年度	2024
英語表記		Basic lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	16分音符ライン	読譜技術	1 16分音符読譜	16分音符で読譜ができる	3	
			2 有名ベースライン1	ベースラインの基本を習得		
			3 16分音符演奏	演奏テクニックを練習		
2	複雑なキー	読譜技術	1 複雑キー読譜	複雑なキーで読譜ができる	3	
			2 有名ベースライン2	高度なベースラインを演奏		
			3 難易度アップ	難易度の異なる練習を実施		
3	テンション和音	和音理解	1 テンション系読み方	テンション系の譜読みができる	3	
			2 コードネーム	コードネームを理解する		
			3 分散和音技法	分散和音の練習を行う		
4	チャーチモード	モード学習	1 チャーチモード学習	チャーチモードの理解を深める	3	
			2 モードスケール	モードスケールを習得する		
			3 モード練習	音楽理論の基礎を学ぶ		
5	譜面初見 1	読譜技術	1 リードシート基礎	リードシートでの読譜練習	3	
			2 ベースライン作成1	ベースライン作成の基本技法		
			3 Key=C演奏	Key=Cでの演奏を練習		
6	譜面初見 2	読譜技術	1 リードシート応用	リードシートの応用練習	3	
			2 ベースライン作成2	ベースライン作成の高度技術		
			3 上級Key=C演奏	Key=Cでの高度な演奏技法		
7	理解度チェック	フィードバック	1 理解度チェック	理解度の確認を行う	3	
			2 授業内容確認	練習内容の振り返り		
			3 フィードバック	具体的なフィードバックを受ける		
8	ブラッシュアップ1	ベースライン構築	1 ブラッシュアップ3	ブラッシュアップテクニック練習	3	
			2 自作ベースライン	自作・課題曲の演奏技術向上		
			3 課題曲挑戦	音楽表現力の向上を目指す		
9	ブラッシュアップ2	ベースライン構築	1 ブラッシュアップ4	更なるブラッシュアップ練習	3	
			2 自作ライン進化	ベースラインの完成度を高める		
			3 高度な技法	独自性のある音楽を作る		
10	ベースソロ技術	ベースライン構築	1 ワンコード演奏	ワンコードでのアドリブ技法	3	
			2 アドリブベース	ベースソロの基本を学ぶ		
			3 ベースソロ技法	表現力豊かな演奏を目指す		
11	録音前準備	機材知識	1 音作り練習	レコーディングの基本を学ぶ	3	
			2 レコ実習1	音作りのテクニックを習得		
			3 モニター環境作り	モニタリング技術を練習		
12	録音技術	ベースライン構築	1 リズム録音	正確なリズムでの録音技術	3	
			2 レコ実習2	ピッチの調整技術を練習		
			3 ピッチ録音技術	レコーディングの品質向上		
13	録音課題修正	ベースライン構築	1 問題点確認	問題点の特定と対策練習	3	
			2 録音修正術	録音技術のブラッシュアップ		
			3 改善策実践	修正技術の向上を目指す		
14	発表会	プレゼンテーション	1 前後期内容発表	前後期の内容を確認・発表	3	
			2 授業内演奏	成果を共有・評価を受ける		
			3 スキルアップ確認	学んだことの復習と応用		
15	まとめ	学期総評	1 後期内容復習	後期の内容を振り返ることができる	3	
			2 まとめ	後期の内容を整理してポイントを整理することができる		
			3 次のステップへ	次のステップへの準備を行う		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	ベーシックレッスン 2							年度	2024
英語科目名	Basic lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース 1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	杉本清隆	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン		
【科目の目的】 ミュージシャンとしての基礎力を養うために、基礎レッスンと音楽全般の基礎知識を学びながら、2つの課題曲において基礎的な演奏力を身につけ、専攻分野の奏法を活かした演奏者としての知識を獲得する。学内発表の範囲内で演奏法に継続性をもたらし技術を身につけ、さらに各種オーディションやコンテストに向けた準備と進行方法を学び実践する。									
【科目の概要】 ミュージシャンとしての基礎力を身につけるため、基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する基礎知識を学んでいきます。また、ソロやバンドなど希望とレベルにあわせたトレーニングを実施。各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。									
【到達目標】 A. 課題曲 2 曲に関して、基礎的演奏力を体得している。B. 課題曲 2 曲に関して、専攻分野における奏法をふまえた、演奏者としての知識を習得している。C. 学内発表の範囲内で、演奏法に、継続性が見込める。									
【授業の注意点】 専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている	レベル2 ふつう			レベル1 要努力				
到達目標A	課題曲 2 曲に関して、基礎的演奏力を体得している	課題曲 1 曲に関して、基礎的演奏力を体得している			到達目標Aについてさらなる努力が必要				
到達目標B	課題曲 2 曲に関して、専攻分野における奏法をふまえた、演奏者としての知識を習得している	課題曲 1 曲に関して、専攻分野における奏法をふまえた、演奏者としての知識を習得している			到達目標Bについてさらなる努力が必要				
到達目標C	学内発表の範囲内で、演奏法に継続性が見込める	課題の譜面を書くことができる			到達目標Cについてさらなる努力が必要				
【教科書】 配布プリント、講師作成リードシート、ドラムスティックは各自で用意すること									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ベーシックレッスン2			年度	2024
英語表記		Basic lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	スケジュール確認	疑問点の解消	1 ヒヤリング確認	ヒヤリング能力向上	3	
			2 疑問点解消	疑問点が解消できる		
			3 スケジュール設定	効率的なスケジュール構築能力		
2	初見譜面 1	初見演奏	1 初見譜面練習1	初見で譜面読解ができる	3	
			2 譜面読解	基本的なドラム演奏能力		
			3 演奏実施	自信を持って演奏できる		
3	初見譜面 2	初見演奏	1 初見譜面練習2	譜面の高度な読解能力	3	
			2 譜面の深掘り	演奏のニュアンスを理解		
			3 演奏強化	発展的なドラムテクニック		
4	ヒヤリング応用	解析＆編曲技術	1 ヒヤリング技法	ヒヤリングの深度向上	3	
			2 疑問点对応	オリジナルアレンジの技法		
			3 オリジナルアレンジ	アレンジの幅が広がる		
5	ドラムアレンジ	リズム構築論	1 ストーリー考察	曲の背景理解能力	3	
			2 ドラムアレンジ	ドラムでストーリー表現能力		
			3 曲構築技法	独自のアレンジができる		
6	ビート合わせ	同期演奏	1 多様なビート	多様なビート認識能力	3	
			2 同機演奏実施	アンサンブル力の向上		
			3 リズム合わせ	リズムへの適応力強化		
7	オリジナル曲演奏	演奏実践	1 オリジナル作曲	オリジナル曲の理解力	3	
			2 マイナスワン演奏	マイナスワンでの演奏能力		
			3 音源作成	アレンジ応用力の養成		
8	中間チェック	フィードバック	1 中間発表	中間の自己評価能力	3	
			2 理解度チェック	他者とのコミュニケーション力		
			3 振り返り	効果的なフィードバック力		
9	ドラムソロ紹介	ソロ理論	1 ソロ曲紹介	ドラムソロの歴史理解	3	
			2 ドラムソロ演奏	ソロ演奏の技術向上		
			3 技術向上	表現力の充実		
10	ソロ作成法	ソロ理論	1 ソロの作り方	ソロ作成の独自性	3	
			2 リズム構築	ドラムソロの構築理論		
			3 ソロ技術	クリエイティブなソロ構築		
11	ソロ実践	ソロ理論	1 曲合わせソロ	曲とのシナジーを感じる	3	
			2 表現力養成	ドラムソロのマッチング		
			3 パフォーマンス強化	全体との調和がとれる		
12	レコーディング入門	録音入門＆機材	1 レコーディング知識	レコーディングの基礎知識	3	
			2 機材紹介	機材選定のセンス向上		
			3 録音準備	効率的な準備手法習得		
13	世界への発信	デジタル発信論	1 撮影実施	発表のプレゼンテーション力	3	
			2 発表準備	レコーディングの技術向上		
			3 素材作成	発信力の養成		
14	振り返り	評価＆反省点	1 感想共有	撮影技法の理解	3	
			2 疑問点整理	感想の具体的な表現能力		
			3 反省点洗い出し	反省点的確な把握		
15	まとめ	期末レビュー	1 後期内容整理	成果の総括能力	3	
			2 学びの確認	授業の総合的理解		
			3 次期展望	次のステップへの展望		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	ベーシックレッスン 2							年度	2024
英語科目名	Basic lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース 1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	杉本清隆	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン		
【科目の目的】 ミュージシャンとしての基礎力を養うために、基礎レッスンと音楽全般の基礎知識を学びながら、2つの課題曲において基礎的な演奏力を身につけ、専攻分野の奏法を活かした演奏者としての知識を獲得する。学内発表の範囲内で演奏法に継続性をもたらし技術を身につけ、さらに各種オーディションやコンテストに向けた準備と進行方法を学び実践する。									
【科目の概要】 ミュージシャンとしての基礎力を身につけるため、基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する基礎知識を学んでいきます。また、ソロやバンドなど希望とレベルにあわせたトレーニングを実施。各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。									
【到達目標】 A. 課題曲 2 曲に関して、基礎的演奏力を体得している。B. 課題曲 2 曲に関して、専攻分野における奏法をふまえた、演奏者としての知識を習得している。C. 学内発表の範囲内で、演奏法に、継続性が見込める。									
【授業の注意点】 専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方を持ち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている	レベル2 ふつう			レベル1 要努力				
到達目標A	課題曲 2 曲に関して、基礎的演奏力を体得している	課題曲 1 曲に関して、基礎的演奏力を体得している			到達目標Aについてさらなる努力が必要				
到達目標B	課題曲 2 曲に関して、専攻分野における奏法をふまえた、演奏者としての知識を習得している	課題曲 1 曲に関して、専攻分野における奏法をふまえた、演奏者としての知識を習得している			到達目標Bについてさらなる努力が必要				
到達目標C	学内発表の範囲内で、演奏法に継続性が見込める	課題の譜面を書くことができる			到達目標Cについてさらなる努力が必要				
【教科書】 配布プリント、講師作成リードシート									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ベーシックレッスン2			年度	2024
英語表記		Basic lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	バラード理解	バラード入門	1 アンサンブル点	アンサンブルの理解	3	
			2 考察技術	留意点の把握ができる		
			3 実践練習	実践練習が進められる		
2	ピアノ演奏	伴奏法	1 アンサンブル点	アンサンブルの技術向上	3	
			2 演奏アップ	演奏の流れを掴める		
			3 技術習得	グループ練習が効果的に		
3	バンド演奏	アンサンブル法	1 アイコンタクト	アイコンタクトの基礎	3	
			2 手元見ず1	手元を見ずに演奏開始		
			3 実践演奏	チームワーク向上の基礎		
4	Rock理解	Rock入門	1 アイコンタクト	アイコンタクトの実践	3	
			2 手元見ず2	手元を見ずに継続演奏		
			3 演奏向上	コミュニケーション力向上		
5	Rockピアノ	Rock実技展開	1 他楽器考察1	他楽器への適応力	3	
			2 実践対応	実際の演奏での対応力		
			3 技術向上	音楽的な相互理解が深まる		
6	シンセ操作	操作法	1 他楽器考察2	他楽器との協調演奏	3	
			2 実践対応	実践的な問題解決力		
			3 技術練習	アンサンブルの統一感増		
7	Funk理解	Funk入門	1 中間発表1	中間プロジェクトの発表	3	
			2 プロジェクト検討	進捗の共有ができる		
			3 中間発表2	フィードバックを活用		
8	Funkピアノ	Funk実技応用	1 進捗報告	中間プロジェクトの検証	3	
			2 パフォーマンス	進捗の調整ができる		
			3 技術考察	問題点の特定と対応策		
9	Funkシンセ	操作法	1 練習方法	パフォーマンスの技術向上	3	
			2 衣装考察	演奏中の表現力向上		
			3 ビジュアル練習	観客との一体感を持てる		
10	Jazz理解	Jazz入門	1 パフォーマンス強化	衣装との調和の理解	3	
			2 暗譜演奏1	演奏との統一感を感じる		
			3 実践練習	ステージプレゼンス向上		
11	Jazzピアノ	Jazz実技展開	1 技術習得	暗譜の基礎技術	3	
			2 暗譜演奏2	頼りになる記憶力の習得		
			3 技術向上	独立した演奏ができる		
12	Jazzボーシング	音色の深堀り	1 練習方法	暗譜の実践技術	3	
			2 暗譜演奏3	楽譜なしでの安定演奏		
			3 実践テクニック	集中力と自信を持てる		
13	メジャーアドリブ	モチーフ展開	1 段階的向上	暗譜の高度な技術	3	
			2 授業のまとめ1	複雑な部分の暗譜習得		
			3 振り返り	フリースタイル演奏ができる		
14	マイナーアドリブ	モチーフ展開	1 進捗確認	授業の振り返りと整理	3	
			2 授業のまとめ2	習得点と課題の特定		
			3 総合評価	次のステップへの準備		
15	まとめ	最終発表	1 次段階指示	全体のまとめと評価	3	
			2 最終発表プレゼン	総合的な技術向上確認		
			3 最終演奏発表	今後の学びの方向性設定		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	ベーシックレッスン 2							年度	2024
英語科目名	Basic lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース 1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	恒枝賢治	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン、プロデューサー、レコーディングエンジニア、音源制作		
【科目の目的】 ミュージシャンとしての基礎力を養うために、基礎レッスンと音楽全般の基礎知識を学びながら、2つの課題曲において基礎的な演奏力を身につけ、専攻分野の奏法を活かした演奏者としての知識を獲得する。学内発表の範囲内で演奏法に継続性をもたらし技術を身につけ、さらに各種オーディションやコンテストに向けた準備と進行方法を学び実践する。									
【科目の概要】 ミュージシャンとしての基礎力を身につけるため、基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する基礎知識を学んでいきます。また、ソロやバンドなど希望とレベルにあわせたトレーニングを実施。各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。									
【到達目標】 A. 課題曲 2 曲に関して、基礎的演奏力を体得している。B. 課題曲 2 曲に関して、専攻分野における奏法をふまえた、演奏者としての知識を習得している。C. 学内発表の範囲内で、演奏法に、継続性が見込める。									
【授業の注意点】 専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方を持ち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている	レベル2 ふつう			レベル1 要努力				
到達目標A	課題曲 2 曲に関して、基礎的演奏力を体得している	課題曲 1 曲に関して、基礎的演奏力を体得している			到達目標Aについてさらなる努力が必要				
到達目標B	課題曲 2 曲に関して、専攻分野における奏法をふまえた、演奏者としての知識を習得している	課題曲 1 曲に関して、専攻分野における奏法をふまえた、演奏者としての知識を習得している			到達目標Bについてさらなる努力が必要				
到達目標C	学内発表の範囲内で、演奏法に継続性が見込める	課題の譜面を書くことができる			到達目標Cについてさらなる努力が必要				
【教科書】 譜面、音源、映像等適宜用意。ギター、チューナー、シールド、ピック等の楽器や必需品を各自用意。カポタストと替えの弦は必ずギターケースに入れておくこと。									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ベーシックレッスン2			年度	2024
英語表記		Basic lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	前期復習	後期への導入	1 前期復習	前期内容を理解する	3	
			2 練習成果確認	練習の成果を確認する		
			3 技術の向上	技術の進歩を実感する		
2	コード理論	バックイング	1 コード押さえ方	正しいコードの押さえ方ができる	3	
			2 省略コード	省略コードの理解が深まる		
			3 技法向上	適切な指の使い方ができる		
3	アルペジオ	バックイング	1 コードアルペジオ	コードアルペジオの基礎を習得する	3	
			2 アルペジオ練習	アルペジオの適用ができる		
			3 応用技術	正確な音の出し方ができる		
4	技術指導 1	楽曲分析 1	1 楽曲練習 1	楽曲のリズムに合わせられる	3	
			2 アドバイス	具体的なアドバイスを受け取る		
			3 技術説明	必要な技術の理解が進む		
5	ソロ基礎 1	スケール実践	1 ソロ構築 1	メジャースケールを使ったソロができる	3	
			2 メジャースケール	マイナースケールの応用ができる		
			3 マイナースケール	スケールの基礎知識が深まる		
6	ソロ基礎 2	ポジション転換	1 ソロ構築 2	ポジション移動のスムーズさを得る	3	
			2 ポジション移動	メジャー・マイナーの融合ができる		
			3 応用技術	独自のソロ構築ができる		
7	技術指導 2	楽曲分析 2	1 楽曲練習 2	アドバイスに基づいた演奏ができる	3	
			2 アドバイス	技術の進化を楽曲に生かせる		
			3 技術説明	演奏に変化をつけられる		
8	指弾き	バックイング	1 フィンガーピック	フィンガーピッキングの技法を習得する	3	
			2 ソロギター 2	ソロギター 2 のスタイルができる		
			3 練習技法	指の動きの柔軟性を高める		
9	指弾き	バックイング	1 フィンガーピック	フィンガーピッキングの練習が得意になる	3	
			2 ソロギター 2	ソロギター 2 の応用技法ができる		
			3 練習技法	新しい演奏スタイルを体験する		
10	楽曲演奏 1	曲解釈 1	1 自作曲演奏 1	自分の曲の演奏スキルを高める	3	
			2 課題曲演奏	課題曲の解釈と演奏が得意になる		
			3 実技向上	楽曲の深い理解を得る		
11	楽曲演奏 2	曲解釈 2	1 自作曲演奏 2	自分だけの解釈で曲を奏でられる	3	
			2 課題曲演奏	課題曲の完成度を高める		
			3 実技向上	独自性を出した演奏ができる		
12	録音準備	音響調整	1 レコ実習 1	正確なレコーディング環境を構築する	3	
			2 音作り	音作りの技法を習得する		
			3 モニター作	モニター環境の最適化ができる		
13	録音実践	高精度録音	1 レコ実習 2	正確なリズムで録音ができる	3	
			2 リズム録音	ピッチを保った録音が得意になる		
			3 ピッチ録音	音の調整技法を習得する		
14	録音修正	フィードバック	1 問題点修正	録音中の問題点を自覚する	3	
			2 録音技術	適切な修正手法を身につける		
			3 実技向上	高品質な録音ができる		
15	まとめ	学期総評	1 まとめ	授業の内容を総合的に理解する	3	
			2 フィードバック	学んだ技術の確認と反省ができる		
			3 総合理解	次のステップへの準備ができる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	ベーシックレッスン 2							年度	2024
英語科目名	Basic lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース 1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	河原レオ・南慶樹	教員の実務経験		有	実務経験の職種		作編曲		
【科目の目的】									
ミュージシャンとしての基礎力を養うために、基礎レッスンと音楽全般の基礎知識を学ぶ一方で、2つの異なるジャンルに合わせた作曲および編曲の技術を身につけ、DAWおよび指定のデジタルアプリケーションの操作スキルを範囲内で獲得する。レベルに応じたトレーニングを行い、各種オーディションやコンテストに備え、進行方法を学び実践する。									
【科目の概要】									
ミュージシャンとしての基礎力を身につけるため、基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する基礎知識を学んでいきます。また、ソロやバンドなど希望とレベルにあわせたトレーニングを実施。各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。									
【到達目標】									
A・2種類のジャンルに合わせた作曲の技術を身につけること B・2種類のジャンルに合わせた編曲の技術を身につけること C・DAW並びに授業指定のデジタルアプリケーションの操作方法をシステムデータが提出できる範囲で身に着けること									
【授業の注意点】									
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方を持ち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ループリック									
ループリック 評価	レベル3 優れている	レベル2 ふつう			レベル1 要努力				
到達目標 A	2種類のジャンルに合わせた作曲の技術を身につける	2種類のジャンルに合わせた作曲の技術を説明できる			到達目標Aについてさらなる努力が必要				
到達目標 B	2種類のジャンルに合わせた編曲の技術を身につける	2種類のジャンルに合わせた編曲の技術を説明できる			到達目標Bについてさらなる努力が必要				
到達目標 C	DAW並びに授業指定のデジタルアプリケーションの操作方法をシステムデータが提出できる範囲で身に着けること	DAW並びに授業指定のデジタルアプリケーションの操作方法を説明できる			到達目標Cについてさらなる努力が必要				
【教科書】									
講師オリジナル教材など									
【参考資料】									
特になし									
【成績の評価方法・評価基準】									
評価基準はループリック評価に基づき、提出物課題60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ベーシックレッスン2			年度	2024
英語表記		Basic lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	課題③基礎	基礎理解	1 課題曲③紹介	課題曲③の概要理解	3	
			2 基本制作法	基本的構造把握		
			3 楽曲構造	メロディの要素認識		
2	課題③旋律	旋律作成	1 課題曲③分析	課題曲③の解析技法習得	3	
			2 コード進行	リズムの基礎知識		
			3 リズム感得	ハーモニーの理解深化		
3	課題③和声	和声適用	1 課題曲③練習	楽曲のメロディ作成能力	3	
			2 メロディ作成	楽曲背景知識習得		
			3 アレンジ法	楽器役割の理解		
4	課題③リズム	リズム設計	1 課題曲①応用	楽曲制作の全体像把握	3	
			2 楽器選定	コード構築能力習得		
			3 ダイナミクス	アレンジメント基礎		
5	課題③完成	初稿完成	1 課題曲③発表	楽曲の完成形態理解	3	
			2 評価方法	楽曲評価基準知識		
			3 フィードバック	改善点の特定能力		
6	課題④導入	テーマ性	1 課題曲④紹介	課題曲④の概要理解	3	
			2 再構築法	応用的構造把握		
			3 エフェクト利用	複雑リズムの解析能力		
7	課題④テクニック	楽器配置	1 課題曲④分析	和声の拡張知識習得	3	
			2 録音技法	テクスチャー理解強化		
			3 ミックス調整	楽曲の変化・発展認識		
8	課題④構造	曲構成	1 課題曲④練習	複雑メロディ作成能力	3	
			2 進行変更	ブリッジ部分構築能力		
			3 サウンド選択	アレンジの応用知識		
9	課題④編曲	編曲進行	1 課題曲④応用	楽曲発表の準備能力	3	
			2 和声技法	楽曲の詳細な評価技法		
			3 テクスチャー	音楽制作の最終調整能力		
10	課題④評価	自己評価	1 課題曲④発表	リズムとメロディ統合	3	
			2 曲の展開法	楽曲のテーマ設定能力		
			3 ブリッジ作成	楽曲の変更・修正技法		
11	課題⑤発展	スキル向上	1 課題曲⑤紹介	楽曲全体の流れ理解	3	
			2 音域活用	リスニング技法習得		
			3 モチーフ展開	楽曲の構造変更能力		
12	課題⑤高度技法	テクニカルな作曲	1 課題曲⑤分析	楽曲の表現力向上策	3	
			2 実践的評価	音色選択の基本知識		
			3 リスニング会	楽器の演奏法理解		
13	課題⑤楽器編	音色選択	1 課題曲⑤改善	曲構造の創造的変更能力	3	
			2 音色調整	アレンジの最終調整		
			3 エディット技法	MIDI編集技術習得		
14	課題⑤マスタリング	DAW技術	1 課題曲⑤完成	マスタリングの基礎	3	
			2 最終ミックス	音楽のジャンル理解		
			3 マスタリング	コードの応用技法		
15	課題⑤公開	総仕上げ	1 課題曲評価	リミックス技術習得	3	
			2 ポートフォリオ	楽曲プレゼンテーション技法		
			3 フィイナルレビュー	レビューを通じて今後への展望が把握できる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等